

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	薬事衛生課	職	課長	氏名	多田 実次
評価者	組織	薬事衛生課	職	課長	氏名	多田 実次

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	医薬品の安全確保及びジェネリック医薬品の使用促進	ジェネリック医薬品使用割合	%	60.0 (H30)	49.0 (H25)	(H26)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	これまでの 有効性	今後の 方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	ジェネリック医薬品の使用促進	ジェネリック医薬品使用割合	%	60.0 (H30)	49.0 (H25)	(H26)	ジェネリック医薬品使用推進事業費	医療機関、薬局、患者	2,000			

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ジェネリック(後発)医薬品使用推進事業	事業開始年度 平成19年度	事業終了予定年度
	根拠法令 ・計画等 薬事法	

作成者	組織	薬事衛生課	薬事・麻薬グループ
	職・氏名	専門員	水嶋 浩晃
	電話番号	076 - 225 - 1442	内線 4157

○ 事業の背景・目的

医療制度改革のなかで、県民の医療費の節減、患者負担の軽減に資するジェネリック医薬品の利用促進のための課題と対応策を検討し、利用促進のための環境整備を図る。

○ 事業の概要

ジェネリック（後発）医薬品使用推進事業

(1) ジェネリック（後発）医薬品使用推進連絡協議会の開催
・ 促進策の検証及び今後の対策

(2) 基幹病院におけるジェネリック医薬品採用品目リストの作成
・ 基幹病院が採用しているジェネリック医薬品を調査し、リストを作成する。
各医療機関にリストを配布、周知し、規範たる基幹病院が採用している品目である安心感からジェネリック医薬品の施用に対する抵抗を緩和する。
また、卸売業者及び薬局へも配布し、需要を予測した在庫管理に利用させることで不良在庫の抑制を図り負担を軽減する。

(3) 消費者に対する普及啓発（県薬剤師会に対する委託事業）
・ 消費者に対するジェネリック医薬品使用促進セミナー開催
・ ジェネリック医薬品製造工場見学会の実施

(4) 情報の収集と提供（県薬剤師会に対する委託事業）
・ ジェネリック医薬品の安全性・有効性等のデータを収集し、医療機関、薬局、県民に対して情報提供する。

これまでの見直し状況

施策・課題の状況							
課題						評価	
ジェネリック医薬品の使用促進							
指標	ジェネリック医薬品割合(数量ベース)					単位	%
目標値	現状値						
平成30年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
60.0	22.7	23.9	28.8	49			
※平成24年度までは「旧指標」の算出による後発医薬品割合(数量ベース) 〔ジェネリック医薬品の数量〕 / 〔すべての医薬品の数量 (H2. 4以降一部除外) 〕							
※平成25年度及び平成30年度目標値は「新指標」の算出による 〔ジェネリック医薬品の数量〕 / (〔ジェネリック医薬品のある先発医薬品の数量〕 + 〔ジェネリック医薬品の数量〕)							
事業費							
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
事業費	予算	1,888	1,888	1,898	1,815	2,000	
	決算	1,888	1,776	1,898	1,941		
一般財源	予算	0	0	0	0	0	
	決算	0	0				
事業費累計	7,664	9,440	11,338	13,279	15,279		
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性							
今後の方向性							